

高齢者施設でのクラスターの発生について（第1報）

令和3年6月1日（火）、本市内の高齢者施設において、感染対策が行われている中でクラスターが発生しました。

現在、患者の行動歴など、積極的疫学調査を実施しており、その結果把握した濃厚接触者等に対しては、健康観察及びPCR検査を適切に実施することとしています。

1 経緯等

- ・5月28日（金）、高齢者施設の入所者1名が体調不良のため、医療機関を受診し、PCR検査を受検したところ、同日、陽性が確認されました。
- ・また、5月29日（土）、入所者1名が体調不良のため、抗原検査を受検したところ、同日、陽性が確認されました。
- ・このため、5月29日（土）以降、これらの入所者と接触の可能性のあった施設の入所者38名及び職員40名について、PCR検査を順次実施したところ、翌日、職員1名の陽性が確認されました。
- ・さらに、5月31日（月）以降、上記検査で陰性となった入所者1名及び職員1名が体調不良のため、PCR検査等を受検したところ、6月1日（火）までに、いずれも陽性が確認されました。

（5月28日結果判明：1名（5月30日公表）
5月29日結果判明：1名（5月30日公表）
5月30日結果判明：1名（6月1日公表）
5月31日結果判明：1名（6月1日公表）
6月1日結果判明：1名（6月3日公表））

- ・患者のうち、入所者3名は感染症指定医療機関等に入院しています。職員のうち、1名は宿泊施設で療養し、1名は療養先を調整中です。
- ・本人等からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴及び県外往来歴はありません。

2 患者概要

(1) 年代

区分	40代	60代	80代	90代	計
入所者	—	—	1	2	3
職員	1	1	—	—	2
計	1	1	1	2	5

(2) 居住地 広島市

(3) 症状 中等症（入所者1名）または軽症